岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　災関砂防鯉の浦隣1測量調査設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B-2	**調査位置**	広島県呉市　呉市所管内			**北緯**	34° 09′ 6.11″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2019年 3月 5日 ～ 2019年 3月 11日	**東経**	132° 29′ 51.76″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 49.66m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機**	KANO
総削孔長	14.00m								**エンジン**	NFAD5	**ポンプ**	F25L

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 ×(%) 最大コア長 ○ cm RQD —[%]	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 N値	深度－N値 図	原位置試験	室内試験	削孔状況 削孔月日	削孔速度（cm／b）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削孔水・送水量（L／min）	排水量（L／min）
1				砂	赤褐									細砂主体 φ2～30mm花崗岩角礫を混入する。 GL-0～0.15mは粘土を混入する。 全体に植物根を混入する。		13 1.15 300 1.45												
2	47.16	2.50														17 2.15 300 2.45											
3	45.66	4.00			灰褐	w5		E	VI	d	DM			岩石組織をほとんど残さない。砂状コア。		34 3.15 300 3.45				3/6							
4															03/09 4.45	56 4.15 200 4.35											
5																50 5.15 260 5.41				3/7		86／B2					
6																50 6.15 80 6.23											
7					灰褐	w4		D	V～VI	d	DH			砂状～礫状コア。 岩石組織を残すものの岩片は軟質で指圧で砂となる。 上方では著しく風化しており土砂状で岩石組織をわずかに残すのみだが下方に従い徐々に風化花崗岩の様相となる。 GL-9.5～9.9mにて短柱状のコアとなるが潜在亀裂にて分離し易く礫状となる。		56 7.17 210 7.38												
8																50 8.15 50 8.20											
9																50 9.15 70 9.22											
10	39.46	10.20		花崗岩												50 10.05 80 10.13											
11					褐灰	w3		C	II～III	c	CL	20 [55] 100		柱状～短柱状コア、一部岩片状。 岩片は比較的硬質、ハンマーヘッドで軽音～やや濁音。 岩片に褐色～緑褐色の潜在亀裂多数、ハンマー打撃にて亀裂沿いに分離する。 亀裂面は波状で粗く褐色を呈する。亀裂に細粒分を介在する場合がある。 亀裂角度は水平～∠45°程度のものが主体。		50 11.00 30 11.03				3/9				20.0	30	1.0	W2／1	1
12												22 [35] 100				50 12.00 30 12.03						φ66 WMC					
13												13 [25] 100				50 13.00 0 13.00											
	35.66	14.00										12 [33] 100				50 14.00 0 14.00				3/11		φ66 WDB		200			